

神於山観察の眼

2018 年 1 月 26 日

1 班 齊藤ちづみ

(意賀美神社の社叢林～神於山展望台)



ミミズバイ (ハイノキ科)
葉裏が白い 果実がミミズの
頭に似る事から名



タイミンタチバナ (サクラソウ科)
暖温帯に自生 葉は枝先に密生
葉裏は主脈以外の葉脈は目立たない



葉腋に雄花の蕾



ナナミノキ (モチノキ科) 七実木
七実 (果実が多くつく) 名の通り



虫こぶナナミノキメタマフシ
赤くなったのもあった



ツルウメモドキ (ニシキギ科)
実は黄熟し赤い仮種皮に包まれた種子



テイカカズラ (キョウチクトウ科)
テイカカズラミサキフクレフシ
2 個の実が合着して出きる虫こぶ



カラスウリ (ウリ科) 雌雄異株
地下の塊根で栄養繁殖もする



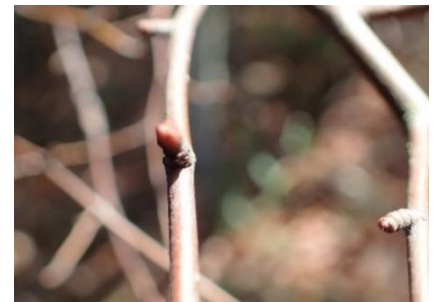
ハダカホウズキ (ナス科)
茎の基部は直立し上部で分枝
果実は苞につつまれない



ヤブムラサキ (シソ科)
果実が残る 星状毛が見える



イズセンリョウ (サクラソウ科)
雌雄異株 蕾が沢山付く



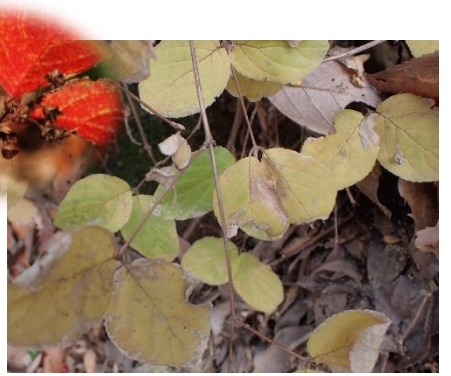
カマツカ (バラ科) 枝に短枝ある
冬芽は赤褐色、つやある



ツルグミ (グミ科) ツル性木本～低木
葉裏は赤茶を帯びる鱗状毛



マルバウツギ (アジサイ科)
萼と果実



紅葉の葉 (下見) と 残ってる葉



ゴンズイ (ミツバウツギ科)
太い枝先に仮頂芽が2個並ぶ
頂芽が1個のもある 枝痕



コ克蘭 (ラン科) 常緑の多年草
葉柄の基部は鞘状に茎を抱く



コ克蘭の蒴果

(展望台～クスノキ広場～国見の森広場)



ハゼノキ (ウルシ科) 冬芽
頂芽が大きいのは複葉
葉柄のような鱗芽でおおわれる



ハナミョウガ (ショウガ科)
常緑の多年草、葉はビロードの
ような軟毛ある



ヒヨドリジョウゴ (ナス科)
ツル性で液果のみ沢山残る



ニシキギ (ニシキギ科)
コマユミとも言う
果皮、仮種皮が見える
種子は中にある



タマミズキ (モチノキ科) 雌木
落葉により小さい果実が目立つ



直径3mmの核果の中に核が
6～8個ほど入っている





サネカズラ (マツブサ科)
ツル性木本 11 月に熟した集合果



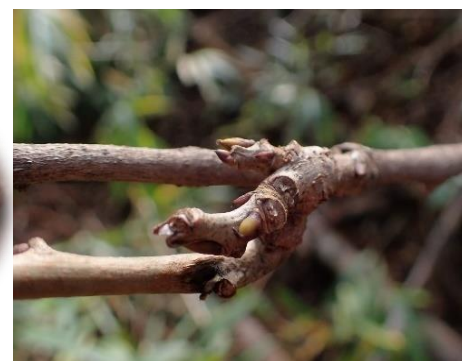
コウヤボウキ (キク科) 小低木 冠毛がピンク色で綺麗
1 年枝の枝先に付くがよく枝別れをして瘦果をつけている



ウワミズザクラ (バラ科)
落枝痕と冬芽



フジ (マメ科) ツル性木本 一年枝は細く無毛
冬芽は三角形で基部は両横に膨らむ 葉痕は隆起する



ヘラシダ (イワデンダ科) 葉裏のソーラスが斜め平行に並ぶ
単葉で細長いへら型、長く這う根茎で群生する



ナナミノキに上る蟻道
蟻道は木くずで出来ている



キクラゲ (キクラゲ科) 木耳
寒さで水分を取られた状態



8 日前 (下見) 出来初めの
キクラゲは柔らかく
みずみずしい



ガマズミ (レンプクソウ科)
9~11 月に熟した果実が見られ
しわしわの状態でも沢山残る

(国見の森広場～愛彩ランド)



モチツツジ (ツツジ科) 半落葉
腺毛が多い 返り咲き？
寒波で咲かずに終わりそう



タラノキ (ウコギ科)
葉痕の中の維管束痕が首飾り



ムベ (アケビ科) ツル性常緑
小葉は1～7枚
果実は裂けない



ハリエンジュ (マメ科)
豆果、広範囲で広がり
嫌われもの



徒長枝の冬芽、隠芽で葉痕の
中にありデビルの顔に例え
られる



クロバイ (ハイノキ科)
赤い頂芽は水滴形でやや傾く



フユイチゴ (バラ科)
葉先は尖らない
葉の形で区別する



モズのはやにえ
イヌビワに刺さるカマドウマ



ジャノヒゲ (キジカクシ科)
匍枝を出してふえ、群生する



カギカズラ (アカネ科)
葉腋のカギは2個、1個と交互
に付く 枝に絡むと肥大し合着



ハゼノキ (ウルシ科)
たわわに付く果実



トネリコバナカエデ (ムクロジ科)
羽状複葉のカエデ 果実に特徴
ある 枝先は頂生側芽